



主題名 ノーマライゼーションについて

教材名 とともに生きていくために

人権学習の視点 個別的な視点「障害のある人の人権問題」

主題・教材について 「障害のある人の人権問題」として、これまで小学校教材では視覚障害（低学年）、聴覚障害（中学年）、肢体不自由（高学年）をテーマとしてきた。中学校では知的障害について扱う。障害のある人に対する誤解や偏見が、障害のある人の自立や社会参加を阻んでいる現状があるなか、知的障害のある友達と身近にふれ合うことで、心の壁（バリア）を取り除き心が通じ合うことに気付かせたい。

ねらい 心の壁（バリア）を取り除きふれ合うことで、知的障害のある人とも心が通じ合うことに気付くとともに、ともに生きていこうとする心情と態度を養う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○「みどりキャンプ」がどのようなキャンプであるかを伝える。	一斉	○知的障害のある人とふれ合う「みどりキャンプ」に参加した人が、充実感や障害のある人と心がふれ合う喜びを感じていることを知る。	○キャンプの楽しさを伝えるとともに、身近にふれ合うなかで、心のバリアが取り除かれていることを読み取らせる。	資料集「みどりキャンプ」
展開	<b>障害のある人とふれ合ったことがありますか。</b>				
	○これまでに障害のある人とふれあった経験について交流させる。	一斉	○学校での交流活動をはじめ、社会生活の中での交流経験について体験や感想を出し合う。	○特別支援学級や特別支援学校の友達との交流、ボランティア活動など体験を出させ、どんな活動をしたのかを語らせる。	
	<b>障害のある人の姿から学んだことはどんなことでしょうか。</b>				
	○作文「心の輪」を読ませ、作者が伝えようとしていることを理解させる。	個別 一斉	○作者が障害のある兄から学んだことについて考える。 ○グループや全体で意見を交流する。	○特に「一つ一つに感謝している」姿を「立派」だと言っている気持ちを考えさせる。 ※机間巡視の中で、取り上げたい意見を見つけておき指名発表させてもよい。	資料集「心の輪」 ワークシート項目①
展開	<b>「障害のある子を特別な目で見るとはどんなことだと思いますか。</b>				
	○「特別な目」というのは障害のある人を異質な者として遠ざけようとする態度であることを理解させる。	個別 一斉	○「特別な目」はどんな視線のことなのかを考え、発表し合う。		ワークシート項目②
まとめ	<b>障害のある人とどのようにふれ合っていこうと思いますか。</b>				
	○これから障害のある人とどのようにふれ合っていこうと思うか、自分の考えをまとめさせる。	個別 一斉	○自分は障害のある人とどのようにふれ合っていきたいか、思いや考えをまとめる。	○今後の態度や行動につながるように、具体的に書かせる。	ワークシート項目③

<留意点> 視線には、温かく受け入れる視線と冷たく排斥的な視線があることを考えさせたい。

評価

心のバリアを取り除きふれ合うことで、知的障害のある人とも心が通じ合うことに気付くとともに、ともに生きていこうとする心情と態度を養うことができたか。